

## 東京都市町村社会教育委員連絡協議会役員輪番表

年度	会長	副会長		会計	会計監査	
30	武蔵野市	三鷹市	青梅市	武蔵野市	狛江市	東大和市
元	三鷹市	青梅市	府中市	三鷹市	清瀬市	東久留米市
2	青梅市	府中市	昭島市	青梅市	武蔵村山市	多摩市
3	府中市	昭島市	調布市	府中市	稲城市	羽村市
4	昭島市	調布市	町田市	昭島市	あきる野市	西東京市
5	調布市	町田市	小金井市	調布市	瑞穂町	日の出町
6	町田市	小金井市	小平市	町田市	奥多摩町	八王子市
7	小金井市	小平市	日野市	小金井市	立川市	武蔵野市
8	小平市	日野市	東村山市	小平市	三鷹市	青梅市
9	日野市	東村山市	国分寺市	日野市	府中市	昭島市
10	東村山市	国分寺市	国立市	東村山市	調布市	町田市
11	国分寺市	国立市	福生市	国分寺市	小金井市	小平市
12	国立市	福生市	狛江市	国立市	日野市	東村山市
13	福生市	狛江市	東大和市	福生市	国分寺市	国立市

※ 会計監査については、会長市が会計監査とならないように、輪番が変更しています。

〈 輪番について 〉

ア 市町制施行順とする。

イ 平成6年度から副会長を2年間務めた市が会長市となる。

ウ 町が輪番の時は、副会長を1年務める。この場合副会長は市と町で務め、市は翌年会長市になる。

都市社連協ブロック編成、役員及びブロック幹事一覧

	市町名	R04	R05	R06	R07	R08	R09	R10	R11	R12	R13
第一ブロック	青梅市					監査		○			
	福生市	○							○副会長	副会長	会長
	羽村市			○							○
	あきる野市	監査	○							○	
	瑞穂町		監査		○						
	奥多摩町			監査			○				
	日の出町		監査			○					
第二ブロック	立川市	○			監査			○			
	昭島市	会長	○				監査		○		
	国分寺市				○		副会長	副会長	会長	○	監査
	国立市			○				副会長	副会長	会長	○監査
	東大和市					○					副会長
	武蔵村山市						○				
第三ブロック	八王子市		○	監査			○				
	町田市	副会長	副会長	会長	○			監査		○	
	日野市	○			副会長	副会長	会長	○		監査	
	稲城市					○					○
	多摩市			○					○		
第四ブロック	小平市	○		副会長	副会長	会長	○		監査		
	東村山市					○副会長	副会長	会長		監査	○
	西東京市	監査			○					○	
	清瀬市			○					○		
	東久留米市		○					○			
第五ブロック	武蔵野市	○			監査			○			
	三鷹市		○			監査			○		
	府中市			○			監査			○	
	調布市	副会長	会長		○			監査			○
	小金井市		副会長	副会長	会長	○			監査		
	狛江市						○			副会長	副会長

※会長担当市は会計も併せて担当します。

※「○」はブロック幹事市です。

## 令和5年度 東京都市町村社会教育委員連絡協議会役員会等事業日程表

	役員会 (会長・副会長・会計)	拡大役員会 (役員+ブロック幹事)	理事会	総会・交流大会等
第1回	令和5年5月16日(火) 文化会館たづくり1001学習室 午後1時30分～			定期総会  令和5年4月15日(土) R4年度会長市昭島市 午後1時～
第2回	令和5年7月11日(火) 文化会館たづくり映像シアター 午後1時30分～		第1回	令和5年7月11日(火) 文化会館たづくり映像シアター 午後3時～
第3回	令和5年10月17日(火) 調布市教育会館 301研修室・302研修室 午後1時30分～(予定)			
第4回	令和6年1月23日(火) 調布市教育会館 301研修室・302研修室 午後1時30分～(予定)			交流大会  令和5年12月9日(土) 文化会館たづくり くすのきホール 午後(予定)
第5回	令和6年2月13日(火) 文化会館たづくり 映像シアター(予定) 午後1時30分～(予定)		第2回	令和6年2月13日(火) 文化会館たづくり映像シアター 午後3時～(予定)  令和6年度 定期総会  令和6年4月20日(土) 文化会館たづくり くすのきホール 午後(予定)

(参考) 第54回関東甲信越静社会教育研究大会(栃木大会)

令和5年11月21日(火)から22日(水)まで 会場:宇都宮市(未定)

第65回全国社会教育研究大会(宮崎大会)

令和5年11月8日(水)から10日(金)まで 宮崎市民文化ホール(予定)

令和5年度  
東京都市町村社会教育委員連絡協議会ブロック研修会実施計画（案）

統一テーマ 「学びが広がり、人がつながり、みんなの願いでつくるまち」

ブ ロ ッ ク	幹 事	開催日時	場 所	研 修 テ ー マ 内 容	派遣 役員
1	あきる野市	11月4日（土） 午後2時～4時	あきる野市役所 5階 503～505会議室	【テーマ】 ふるさとを紡ぎ、世代がつながり、学びが広がるあきる野市 【内容】 （1）あきる野市の紹介 （2）事例発表 （3）パネルディスカッション （4）質疑応答 （5）講評	未定
2	昭島市	10月21日（土） 午後1時～4時	アキシマエンシス 校舎棟 202～205会議室	【テーマ】 今年度統一テーマに即した内容で検討中 【内容】 ・講演 ・ワークショップ	未定
3	八王子市	11月4日（土）午前	八王子市生涯学習 センター（クリエ イトホール） 5階ホール	上記統一テーマに即した内容かつ 【生涯学習、地域づくり】等を基本 テーマとした講演を1時間程度で 検討中	未定
4	東久留米市	10月6日（金） 午後2時～4時30分	東久留米市立生涯 学習センター	【テーマ】 地域資源を活用した協働活動の実情と地域をつなげる人材について 【内容】 ・事例発表 ・講演 ・グループワーク	未定
5	三鷹市	11月11日（土）午後	三鷹産業プラザ 7階 701、702会議室	未定	未定

※派遣役員については、日程が出揃い次第、正副会長市で調整します。

令和5年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会  
交流大会・社会教育委員研修会 実施要項（案）

日 時：令和5年12月9日（土）午後1時30分～（受付午後1時00分から）

場 所：調布市文化会館たづくり くすのきホール

（調布市小島町2-33-1）

主 催：東京都市町村社会教育委員連絡協議会

13:30	交流大会 ■第1部 式典（20分） 開 会 都市社連協副会長 吉田 和夫（町田市）  あいさつ 都市社連協会長 篠崎 光正（調布市）  来賓祝辞 東京都調布市教育委員会教育長 大和田 正治 氏 （一社）全国社会教育委員連合（予定）
13:50	■第2部 各ブロック研修会実施報告（55分）※質疑応答含む 第1ブロック幹事 あきる野市 第2ブロック幹事 昭島市 第3ブロック幹事 八王子市 第4ブロック幹事 東久留米市 第5ブロック幹事 三鷹市 ※今年度の統一テーマを受け実施された各ブロック研修会の内容報告。 全体で議論したい課題や問題意識などがあればあわせて報告。
14:45	休憩（15分）
15:00	■第3部 社会教育委員研修会（85分） ○「調布市社会教育計画について」（仮） 講師 鈴木 眞理（青山学院大学名誉教授） 内容 ・登壇者（講師，調布市社会教育委員代表者）及びフロアを含めたパネルディスカッション ・講師による講評等
16:25	来賓祝辞 東京都教育庁地域教育支援部生涯学習課（予定）
16:30	閉会 都市社連協副会長 柴田 彩千子（小金井市）

懇親会

場 所 : Cafe&Bar Pallas(カフェ&バー パラス)

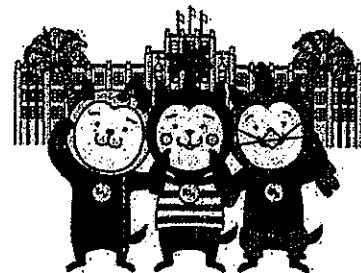
(調布市小島町2-33-1 調布市文化会館たづくり1F)

費 用 : 懇親会出席希望者による会費制

16:30	交流大会 閉会
	休憩・移動
17:00	懇親会 あいさつ 都市社連協会長 篠崎 光正 (調布市) 乾 杯 ブロック幹事市代表者 (未定)
19:00	閉 会 都市社連協副会長 吉田 和夫 (町田市)

令和5年度  
第65回全国社会教育研究大会宮崎大会  
第53回九州ブロック社会教育研究大会宮崎大会  
令和5年度宮崎県社会教育委員研究大会  
【第1次案内】

- 1 大会スローガン  
つなぎ・つながり・つなげよう！未来へのたすき！！  
～日本のひなた宮崎からはじまる明日の社会教育～



- 2 研究主題  
笑顔あふれる地域を創る社会教育の実践

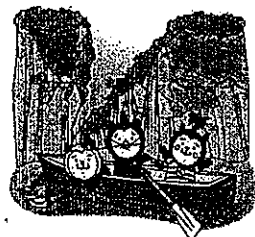
3 趣 旨

かつて日向国と称された宮崎県は、燦々と太陽が降り注ぎ、秀麗で緑深き九州山地や霧島連山、清らかな河川が潤す宮崎平野、黒潮寄せる雄大な日向灘、そして温暖な気候と、自然に恵まれた風土にあります。また、日本発祥にまつわる日向神話の舞台である、この宮崎の地から、全国の社会教育委員をはじめとする社会教育関係者が一堂に会し、学び合い、語り合う本大会を通して、未来につながる明日の社会教育について発信できると考えています。



さて、現代社会において、少子化や核家族化等による地縁的なつながりや地域コミュニティの衰退を受けて、地域住民が主体となった地域の課題解決や地域の活性化がこれまで以上に求められる中、社会教育を基盤とした人づくり・つながりづくり・地域づくりが極めて重要になっています。また、人生100年時代や Society 5.0などの社会変化、そして、今般の新型コロナウイルス感染症への対応を受けて、住民相互のつながりや多様な主体との連携・協働など、つながりを生かした社会教育を通じて、誰もが生きがいを感じられる地域社会の実現が求められています。

そこで、本大会のテーマを「つなぎ・つながり・つなげよう！未来へのたすき！！」とし、「つながり」をキーワードに、全国各地の「つながり」を生かした社会教育の実践を、本大会を通して共有し（つなぎ）、実践が各地に広がり（つながり）、そして、それらの実践が引き継がれ（つなげよう）、将来にわたって誰もが生きがいを感じ、笑顔があふれる地域社会の創出につながる大会にしたいと考えています。



- 4 主 催  
一般社団法人全国社会教育委員連合、九州ブロック社会教育委員連絡協議会、  
宮崎県社会教育委員連絡協議会、宮崎県教育委員会、宮崎市教育委員会、  
第65回全国社会教育研究大会宮崎大会実行委員会

- 5 後 援  
文部科学省、宮崎県、宮崎市、宮崎県公民館連合会 等（申請予定）

- 6 特別協賛  
一般社団法人ひなたネットワーク

- 7 期 日  
令和5年11月8日（水）～10日（金）

## 8 会 場

〈全体会会場〉宮崎市民文化ホール 大ホール

(宮崎市花山手東3丁目25-3 TEL:0985-52-7722)

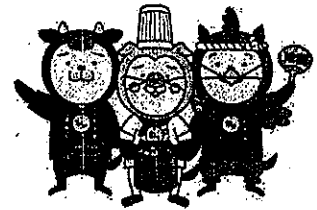
〈分科会会場〉

分科会テーマ		会 場	住所・電話番号
1	学校・地域の連携・協働	宮崎市民文化ホール (大ホール1・2階席)	宮崎市花山手東3丁目25-3 TEL:0985-52-7722
2	家庭教育支援	宮崎市民文化ホール (イベントホール)	
3	高齢者と社会教育	ニューウェルシティ宮崎 (関之尾・霧島の間)	宮崎市宮崎駅東1丁目2-8 TEL:0985-23-3311
4	地域の活性化	ニューウェルシティ宮崎 (高千穂・雲海の間)	
5	社会教育委員の役割	宮崎市民プラザ (オルブライトホール)	宮崎市橋通西1丁目1-2 TEL:0985-24-1008

## 9 参加者

都道府県・政令都市・市区町村の社会教育委員及び社会教育関係職員、  
公民館職員、社会教育関係団体、その他生涯学習・社会教育に関心のある方  
約1,000名

## 10 参加費 一人 5,000円 (参加費・資料代含)



## 11 日 程・内 容

		15:00		16:30		17:00		18:30		
第1日	11/8 (水)					全国社会教育 委員連合 理事会		都道府県・政 令市社教連等 事務局担当者 会議		
第2日	11/9 (木)	9:00	10:00	11:30	12:30	13:00	14:00	15:30	17:00	17:10
		九州ブロッ ク社会教育 委員連絡協 議会理事会	全国社会教育 委員連合 総会	受付 分科会 打合せ	アトラクシ ョン	開会行事	特別対談	シンポジウ ム	閉会行事	
第3日	11/10 (金)	9:00	9:30	12:00						
		受付	分科会 (5分科会)							



11月9日(木) (全体会)

12:30~12:55 アトラクション

- 宮崎県紹介動画
- フラダンスステージショー (宮崎市フラ協会)

13:00~14:00 開会行事

- 主催者あいさつ (全国社会教育委員連合会長)
- 来賓祝辞 (文部科学省、宮崎県知事)
- 歓迎のことば (宮崎市長)
- 来賓紹介
- 主催者紹介
- 表彰
  - 一般社団法人全国社会教育委員連合表彰
  - 宮崎県地域文化功労者教育長表彰
  - 宮崎県社会教育功労者及び社会教育優良団体・施設表彰

14:00~15:30

特別対談

時代をつなぐ「こころ」の普遍性  
～神話と牧水のふるさと宮崎から 生涯学習の在り方を再考する～

上野 誠氏 (日本文学者、國學院大学教授)

伊藤 一彦氏 (歌人、宮崎県立図書館名誉館長)

15:30~17:00

シンポジウム

誰もが生きがいを感じられる地域社会の実現  
～社会教育の学びを生かし、人と人をつなぐ～

【コーディネーター】

長鶴 美佐子氏 (宮崎県社会教育委員、宮崎県立看護大学特任教授)

【シンポジスト】

西 祐樹氏 (文部科学省 CS マイスター (春日市財政課主査))

小林 由枝氏 (よりみちステーション代表)

松下 尚明氏 (大山区長・大成校区公民館館長)

竹内 一久氏 (一般社団法人ひなたネットワーク理事)

清國 祐二氏 (大分大学教職大学院教授)

17:00~17:10

閉会行事

- 主催者あいさつ  
(第65回全国社会教育研究大会宮崎大会実行委員長)
- 次期全国社会教育研究大会開催県挨拶 (茨城県)
- 次期九州ブロック社会教育研究大会開催県挨拶 (鹿児島県)

11月10日(金) (分科会)

9:00~9:30 受付

9:30~12:00 分科会

	分科会 テーマ	討議の視点	事例発表者		司会者
					助言者
1	学校・地域の 連携・協働	学校と地域の連携・協働による多様な活動の充実について	府中町家庭教育支援チーム 「くすのき」 代表 米田 珠美氏	広島県	鹿児島県
			桂川町教育委員会 学校支援コーディネーター 栗原 聡氏	福岡県	福岡県
2	家庭教育 支援	地域ぐるみで家庭教育を支える環境づくりの推進について	萩市家庭教育支援チーム 「はぐくみ」 代表 工藤 美佐氏	山口県	宮崎県
			NPO法人 たいようのえくぼ 代表理事 仲村 優香氏	沖縄県	沖縄県
3	高齢者と 社会教育	高齢者の力を社会参画に生かし、人生100年時代を支える社会教育の在り方について	船橋市教育委員会 生涯学習部中央公民館 副主査 鈴木 大悟氏	千葉県	佐賀県
			都城市下郡元自治公民館 館長 永田 優氏	宮崎県	宮崎県
4	地域の 活性化	地域課題を解決し、にぎわいを創出するための社会教育の在り方について	ボランティアグループ ささえさんの会 代表 塩田 絹代氏	長崎県	長崎県
			一般社団法人 パレット 代表理事 大滝 祐輔氏	熊本県	熊本県
5	社会教育委員 の役割	人と人をつなぎ、心温かなコミュニティを形成するための社会教育委員の役割について	昭島市社会教育委員会議 社会教育委員 ニノ宮リム さち氏	東京都	宮崎県
			宮崎県社会教育委員会議 社会教育委員 内田 俊樹氏	宮崎県	大分県

## 12 今後のスケジュール

7月上旬…第2次案内送付(冊子体)、Web申込受付開始

10月上旬…申込みメ切

# 第54回関東甲信越静社会教育研究大会栃木大会 令和5年度栃木県社会教育委員協議会研修会 開催要項(案)



## 1 研究主題

今、改めて考える「ふれあい」とおしたつながりづくり・地域づくり  
～ウェルビーイングの実現に向けた社会教育委員の役割～

## 2 開催趣旨

現在、グローバル化や情報化、少子高齢化など社会の急激な変化に伴い、多文化共生社会の形成や「Society5.0」の実現に向けた未来技術の活用など、多様化・複雑化する諸課題への対応が求められています。さらに、新型コロナウイルス感染症は、地域社会における人々との関係性や地域コミュニティに大きな変化をもたらしました。ポストコロナ期における新たな学びの在り方を考えるうえで、一人一人の多様な幸せであるとともに社会全体の幸せでもあるウェルビーイング(Well-being)の理念の実現を目指すことが重要です。

栃木県では、幅広い年代の人々との交流活動や体験活動、学習活動を「ふれあい学習」と称し、心豊かな青少年の育成や地域で子どもを育む環境づくりを進めています。新型コロナウイルス感染症の影響を乗り越え、地域コミュニティを再構築していくためにも、人々との「ふれあい」の価値を再確認し、学びの場を通じて地域住民の「つながり」をつくり、ウェルビーイングを実現するための具体的方策を皆さんと一緒に考えていきたいと思っております。

3 期 日 令和5年11月21日(火)～22日(水)

4 会 場 栃木県宇都宮市内 2会場

・栃木県総合文化センター (〒320-0033 栃木県宇都宮市本町1-8)

・ホテルニューイタヤ (〒320-0811 栃木県宇都宮市大通り2-4-6)

【1日目】全体会 栃木県総合文化センター メインホール

【2日目】分科会

第1分科会 栃木県総合文化センター サブホール

第2分科会 同上 特別会議室

第3分科会 同上 第1会議室

第4分科会 ホテルニューイタヤ 天平の間

第5分科会 同上 同上

5 参加費 3,500円(参加資料代等)

6 主 催 一般社団法人全国社会教育委員連合、関東甲信越静社会教育委員連絡協議会、  
第54回関東甲信越静社会教育研究大会栃木大会実行委員会、  
栃木県社会教育委員協議会

7 後 援 栃木県、宇都宮市、栃木県教育委員会、栃木県市長会、栃木県町村会、  
栃木県市町村教育委員会連合会、栃木県社会教育振興協議会、  
栃木県公民館連絡協議会

8 参加対象 関東甲信越静各都県・政令指定都市・区市町村の社会教育委員、社会教育担当職員及び社会教育関係者、生涯学習・社会教育に関心のある方 等

## 9 日程

	10:00	11:00	11:30	12:30	13:00 13:10	14:30 14:40	16:00 16:20	18:00	
第1日目 11月21日(火) 【全体会】			受付 <small>※12:00～12:20 アトラクション</small>	開 会 行 事	記 念 講 演	シ ン ポ ジ ウ ム	閉 会 行 事	移 動	情 報 交 換 会
	9:20	10:00		12:30					
第2日目 11月22日(水) 【分科会】		受 付	分 科 会 (分科会ごとに閉会)						

## 10 大会内容

【11月21日(火)】(全体会)

11:30～ 受付

12:00～12:20 歓迎アトラクション 白鷗大学ハンドベル部

12:30～13:00 開会行事

13:10～14:30 記念講演

演題：「未定」

講師：作新学院高等学校教諭 小針崇宏 氏



14:40～16:00 シンポジウム

テーマ「今、改めて考える「ふれあい」をとおした

つながりづくり・地域づくり」

～ウェルビーイングの実現に向けた社会教育委員の役割～

[コーディネーター]

中村 祐司 氏 (宇都宮大学地域デザイン科学部教授)

[パネリスト]

生井 泉 氏 (親学習チーム日光代表)【案】

菊地 孝行 氏 (大田原市地域学校協働活動推進員)【案】

浜野 将行 氏 (一般社団法人えんがお代表理事)

井上 昌幸 氏 (栃木県総合教育センター生涯学習部長)

16:00～16:20 閉会行事

【11月22日(水)】(分科会) 10:00~12:30(受付 9:20~)

<p>&lt;第1分科会&gt; テーマ:ウェルビーイングの実現に向けた社会教育の取組 助言者:帝京大学地域経済学部教授 山口 泰史 氏</p>	
発表者・テーマ・内容	<p>【神奈川県横浜市】 小野寺 紀子 氏 (横浜市教育委員会事務局生涯学習文化財課長) 「第33期横浜市社会教育委員会議提言 ~視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律(読書バリアフリー法)」に基づく取組の方向性について~」</p> <p>◇誰もが読書ができる社会を目指して「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律(以下、読書バリアフリー法)」が令和元年に成立しました。横浜市社会教育委員会議では、「読書バリアフリー法に基づく取組の方向性について」をテーマに、協議が行われ、令和5年2月に提言がまとめられました。本提言、及び本市の読書バリアフリーの取組状況について事例発表します。</p>
	<p>【栃木県佐野市】 ●● ●● 氏 (○○○○○) 「佐野市第三のグルメ-佐野黒から揚げ誕生の秘話と現在の活動発表-」</p> <p>◇子供たちにとって、ママは欠かせない存在!でも佐野市のパパたちは、知恵とパワーを結集して、パパたちだって何かできるはず!と、未来の子供たちに向けて地域の魅力を再発見し、地域のつながりづくりを目指して新たな地域商品を創り出す!パパプロ e 街佐野奉行所はそんなビジョンをもった、未来のためのプロジェクト!現在の活動内容も併せて発表します。</p>
<p>&lt;第2分科会&gt; テーマ:子ども・若者が地域課題解決に取り組む機会の充実 助言者:宇都宮共和大学シティアイフ学部教授 陣内 雄次 氏</p>	
発表者・テーマ・内容	<p>【埼玉県白岡市】 野口 英夫 氏 (埼玉県白岡市社会教育委員の会議社会教育委員・「町ぐるみん白岡」会長) 「町ぐるみん白岡の活動について」</p> <p>◇子どもたちの健全な成長の支援や地域の教育・子育て関係団体の連絡調整役となって活動の活性化を支援したり、子育て中の親へ学習機会を提供したりしながら、家庭・地域・学校などの関係の円滑化を図っている「町ぐるみん白岡」の活動を紹介します。</p>
	<p>【栃木県栃木市】 荒川 里子 氏 (栃木市社会教育委員会議委員) 「地域ぐるみで子どもたちの「生きる力」を育む教育システムの推進」</p> <p>◇学校・地域・家庭の連携による「とちぎ未来アシストネット事業」として、市民が学んだ成果を地域や地域の児童・生徒に還元する取組が行われ、児童・生徒は地域の行事やイベントに参加し、地域貢献活動を行う双方向の取組みも進めています。</p>
<p>&lt;第3分科会&gt; テーマ:子ども・若者が地域課題解決に取り組む機会の充実 助言者:作新学院女子短期大学部教授 青木 章彦 氏</p>	
発表者・テーマ・内容	<p>【神奈川県愛川町】 萩原 庸元 氏 (愛川町社会教育委員会議長) 「愛川町を愛する~ふるさと愛川の豊かさと愛着を感じる社会教育の振興をめざして~」</p> <p>◇「人のつながり」:愛川町を愛する人材を育成するという理念のもと、これまでの事例をまとめて紹介し、地域総ぐるみで子どもたちを育てる体制づくりをさらに進める。 「文化の継承」:愛川町の歴史やよさを子どもたちや町内外の方に伝えていこうと、調べたことを紙芝居やスライドにまとめて発信する。</p>
	<p>【栃木県宇都宮市】 遠藤 敦子 氏 (宇都宮市清原生涯学習センター専任) 「清原の魅力を発信しよう!! ~わがまち 清原を知ろう~」</p> <p>◇LRT開通を見据え、地区内における観光振興を図るため、地域住民が地域の歴史・伝統・民話・農業など地域資源を幅広く学び、清原の魅力を発信できる人材育成を図る講座を開催した。</p>

<p>&lt;第4分科会&gt; テーマ:地域資源を生かす社会教育の取組(案)          助言者:未定</p>	
<p>発表者・テーマ・内容</p>	<p>【千葉県(富津市)】          高橋 栄二 氏(富津市社会教育委員会議委員長)          「図書館のない市に図書館ができた!~公民館カフェから飛び出す市民との協働~」          ◇令和3年に市制施行50周年を迎えた富津市は「図書館のない市」としても有名であった。「まず今ある公民館図書室を十分に活用しよう」という社会教育委員の提言から動き始めたちょうどそのとき、「図書室を整理させてください」という子育て世代の市民の声が。これをきっかけにできた市民グループとの協働は、平成30年度「ちばコラボ大賞」を受賞。そんな市民の熱もあり、ついに令和5年4月、市立図書館が開館した。</p>
	<p>【栃木県高根沢町】          ●● ●● 氏(○○○○○)          ◇</p>
<p>&lt;第5分科会&gt; テーマ:「命を守る」社会教育          助言者:宇都宮大学地域デザイン科学部准教授 石井 大一郎 氏</p>	
<p>発表者・テーマ・内容</p>	<p>【静岡県(裾野市)】          小田 圭介 氏(裾野市社会教育委員会社会教育委員)          「抱え込まない社会教育~多様な主体による関わりで隙間を埋める~」          ◇東地区おやじの会による「何にもしない合宿(月に一度、100人規模のお泊り会)」や、「体育館”解”放(ただ体育館を貸し切って開放するだけの場)」、消防東分団による「消防団クラブ(消防団員による多種目スポーツ教室)」など、地域の中で多様に人と人を繋げその関係を日常化していく実際の事例を紹介しながら大切にしている視点をお伝えします。</p>
	<p>【栃木県真岡市】          横山 充 氏(真岡市社会教育委員会議社会教育委員長)          飯野 滋生 氏(NPO法人ま・わ・た代表)          成田 雪子 氏(NPO法人ま・わ・た 多機能型事業所 そらまめ所長)          「家庭と地域とのつながり(多様な主体との連携・協働による活動の充実)」          ◇NPO法人ま・わ・た は、真岡市民活動推進センターの指定管理者であり、フードバンク、地域食堂の運営、図書館プロジェクトのサポートなどを行っています。また、各種活動において、小中学校、こども家庭総合支援拠点、図書館、同地域のNPO法人など、行政を含めた多様な主体と協働し、交流活動を通じた、つながりづくり・地域づくりに貢献しています。          また、真岡市社会教育委員会議では、その活動の報告を受け、各団体との連携を図っています。</p>